

令和6年度 熊本県立人吉高等学校 五木分校 シラバス

教科	地歴科	科目（単位数）	地理総合（2）	学年	2年	類型	普通科
学習目標	グローバル化や情報化、少子高齢化など、急激な社会の変化を地理的な視点でとらえながら、平和で民主的な国家及び社会を形成するために必要な資質・能力を育成できる教科書を目指す。特に現代世界における地理的認識を深めながら、地理的技能や地理的見方・考え方を習得することをねらいとする。また、主体的に社会の形成に参画する態度が身に付くようとする。						
期間	単元（学習内容）	評価基準【知識・技能】	評価基準【思考・判断・表現】	評価基準【主体的に学習に取り組む態度】	評価方法		
【1学期】 4月 ～ 5月	・地球上の位置と時差 ・地図の役割と種類	・日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。	・地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。	・地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・プリント提出		
【1学期】 5月 ～ 6月	・現代世界の国家と領域 ・グローバル化する世界	・現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きについて理解している。	・現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現している。	・現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・プリント提出		
【1学期】 6月 ～ 7月	・生活文化の多様性 ・世界の地形と人々の生活	・世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。	・世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。	・生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・プリント提出		
【2学期】 9月 ～ 10月	・世界の気候と人々の生活 ・乾燥した大陸と太平洋の島々での生活 -オセアニア- ・モンスーンの影響を受ける地域での生活 -東南アジア-	・世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。	・世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。	・生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・プリント提出		
【2学期】 10月 ～ 11月	・世界の言語・宗教と人々の生活 ・イスラームと人々の生活の関わり -中央アジア・西アジア・北アフリカ- ・ヒンドゥー教と人々の生活の関わり -インド-	・世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。	・世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。	・生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・プリント提出		
【2学期】 11月 ～ 12月	・歴史的背景と人々の生活 ・移民の歴史と人々の生活の関わり -ラテンアメリカ- ・植民地支配の歴史と人々の生活の関わり -サハラ以南アフリカ-	・世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。	・世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。	・生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・プリント提出		
【3学期】 1月 ～ 2月	・国家体制の変化と人々の生活の関わり -ロシア- ・世界の産業と人々の生活	・世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。	・世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。	・生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・プリント提出		
【3学期】 2月 ～ 3月	・産業力が世界の生活文化に与える影響 -アメリカ合衆国- ・経済成長による人々の生活の変化 -東アジア-	・世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。	・世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。	・生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・プリント提出		
使用教材 (教科書・副教材)	教科書:『高等学校新地理総合』(帝国書院) 副教材:『新詳高等地図』(帝国書院)						
学習方法	・各単位時間ごとの学習プリを用いた作業学習（講義、発問） ・各単位時間ごとにまとめた「日々の課題」で確認						
評価について	各学期ごとの定期考查と平常点 ・定期考查による評価（8割）…【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】の3観点別に作問・採点する。 ・教科の評価基準による平常点（2割）…授業取組姿勢・態度、課題取組状況、発問に対し、自らの考えを適切に表現しているか。						